1. 譲渡又は提供する者の名称及び所在地(製品及び会社情報)

会　社　名 ： シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社
住　　所 ： 〒141-8673
東京都品川区東五反田 3-20-14
緊急連絡先電話番号 ：
03-3537-3939
製　品　名 ： ケミルミ ACS VB12 希釈液
製 品 番 号 ： 105441
作　成　日 ： 2008/10/01
改 定 番 号 ： 2.0

2. 製品の名称及び危険有害化学物質の名称その他の危険有害化学物質の識別に関する事項

下表に記載された製品が本化学物質安全性ﾃﾞｰﾀｼｰﾄの対象である。

製品名	製品コード番号	試薬名	容量
ケミルミ ACS VB12 希釈液	105441	ケミルミ ACS VB12 希釈液	10 mL

単一物か混合物かの区別:混合物

化学名及び化学式	CAS 番号	EEC 番号	重量%	暴露限度				欧州分類		
				OSHA	ACGIH	独国 MAK	英国 OES	危険度分類(ES)	リスクコード(S)	安全性コード(S)
燐酸二ﾅﾄﾘｳﾑ	7758-11-4	231-834-5	0-4	NE	NE	NE	NE	NE	NE	NE
ｱｼﾞ化ﾅﾄﾘｳﾑ	26628-22-8	247-852-1	0.2	NE	C 0.29 mg/m3	0.2 mg/m3 (8 hours)	0.3 mg/m3 (15 min)	Xn	28-32	28-45
塩化ﾅﾄﾘｳﾑ	7647-14-5	231-598-3	0-2	NE	NE	NE	NE	non-hazardous	non-hazardous	non-hazardous
燐酸水素ﾅﾄﾘｳﾑ	10049-21-5	231-449-2	0-1	NE	NE	NE	NE	non-hazardous	non-hazardous	non-hazardous

化学物質は OSHA, IARC, NTP, ACGIH, 米国加州, 英国, 又は独国によってがん原性物質には分類されていない。

3. 危険性又は有害性の種類

毒物または劇物の別

アジ化ナトリウム 0．2% ： 毒物劇物取締法の毒物に該当する。

本物質又はその揮発物は通常使用する量を撒き散らしても、重篤あるいは急激な健康への影響は引き起こさないか、重大な影響を防止する緊急処置を必要としない。感染性の物質として取り扱うこと。

健康への影響の可能性: 本混合物は全体では試験されていないが、個々の化学成分で健康への影響が報告されている。

経　　路 : 粉末又はエアロゾル化した製品の吸入、経口摂取、吸収

化学物質名 : アジ化ナトリウム

健康への影響の可能性--急性 : 標的臓器―神経、心臓、脳

眼 : 刺激性あり

皮膚への接触 : 刺激性あり

皮膚吸収 : 即座に吸収される

経口摂取 : 頭痛、悪心、嘔吐、目眩、胃腸の刺激、目のかすみ、血圧の低下、心拍数の低下、体内pH の低下、体温の低下、痙攣、意識の喪失、致命的な場合有り。

吸　　入 : 刺激性、頭痛、目眩、目のかすみ、血圧の低下、心拍数の低下、意識の喪失、致命的な場合有り。

健康への影響の可能性--慢性 : 遺伝物質の変性。その他は確立していない。

暴露によって悪化する病態 : 確立されていない

暴露の兆候及び症状 : 刺激性、頭痛、目眩、目のかすみ、心拍数の低下

4. 救急時の処置

眼 : 最低 15 分間水で洗い流す。

皮　　膚 : 数分間洗剤と水で洗う。次に継続して合計で 15 分間水で洗い流す。

吸　　入 : きれいな空気で除去する。

経口摂取 : 医師を呼び、可能ならばラベルを示す。

応急処置の後、専門医師の診療を受けること。

5. 火災時の処置

引火点 : 発火性なし

引火方法 : 発火性なし

燃焼限界 : 発火性なし

消火剤 : 炎を覆う適当な消化剤

延焼に起因する独特な様相 : なし

特別な消火方法 : 消火の際に散られる標準的な注意をする。密閉された区域では内部に陽圧の吸入装置を有する完全防護服を着用する。

6. 漏出時の処置

漏出物質の揮発物 : 発火性なし

空気と比較しての揮発物の比重 : 揮発性なし

物質が漏出した場合:

洗 浄 方 法 : 流出物質を吸い取る。表面を洗剤と水で洗浄する。消毒を行う。

漏出物は訓練を受けた者によって取り扱うこと。漏出物に対する適当な防護装置については、8項を参照すること。

追加の注意事項: なし

7. 取り扱い及び保管上の注意

保 管 温 度(最低/最高) : 製品の取扱説明書を参照すること。
眼への接触を避けること。反復継続した皮膚への接触を避けること。取り扱い後は手を洗うこと。
使用しないときは、容器の蓋を閉めること。

他の取り扱い又は保管上の注意: 酸、重金属および、強力な酸化剤との接触は避けること。

バイオハザード: ヒト由来の成分をふくむ。感染の危険性があるものとして取り扱うこと。
これらの製品はヒト血清、血漿またはヒト由来の成分を含んでいる。これらの製品の製造に使用した血清または血漿の提供者は、FDA(米国食品医薬品局)の定める基準により検査を行った結果、B型肝炎表面抗原(HBsAg)、抗C型肝炎(HCV)抗体およびHIV1/2抗体に対し、陰性であることが確認されている。ただし、その他の感染因子を含んでいることも考えられるので、感染性の物質として扱うこと。

8. 暴露を防止するための措置

本製品はGLPに従って取り扱うこと。標準的な作業員の防護具は安全眼鏡及び試験室作業服である。その他のの推奨は以下のとおり :

眼 の 保 護 : 側部密閉付き安全眼鏡
皮 膚 の 保 護 : 試験室作業服、耐化学薬品手袋
呼 吸 器 の 保 護 : 必要なし
技 術 的 管 理 : 良好な空調のある区域で取り扱うこと。

流出事故が発生した場合の適当な作業員の保護具は以下のとおり: ゴーグル (大量の場合は、顔面の保護具), 耐化学薬品手袋及び試験室作業服 (大量の場合は、耐化学薬品エプロンあるいはスーツ)。 認められた安全限界を超えて危険成分に暴露した場合、呼吸器の保護が必要となることがある。 追加の情報として、2項及び10項を参照すること。

9. 物理的性質及び化学的性質

外 観 : 黄色
に お い : 無臭
物 理 的 形 状 : 液体(ヒト血清または蛋白質)
沸 点 : 確立していない
蒸 気 圧 : 確立していない
蒸 気 比 重 : 確立していない
水 へ の 溶 解 性 : 可溶性
比 重 : 1−1.2
融解点/凝固点 : 確立していない
pH : 7−8

10. 危険性に関する事項(安定性及び反応性)

通常の使用条件下での安定性 ： 安定
回　避　条　件 ： 加熱および火炎
禁忌(回避すべき特定物質) ： 酸、重金属、酸塩化物、および強力な酸化剤との接触
危険性のある分解物 ： アジ化水素、窒素酸化物、一酸化ナトリウム、塩素、ナトリウム
危険性のある重合物 ： 確立していない

11. 有害性に関する事項

本混合物は全体では試験されていないが、個々の化学成分で毒性情報が報告されている。 欧州の規則により危険物に分類されている物質のみの情報である。

化 学 成 分 名 ： アジ化ナトリウム

急 性 デ ー タ ：

LD_{50}(経 口) ： 27 mg/kg(ラット)、27 mg/kg(マウス)、23.7 mg/kg (鳥)
LD_{50}(経 皮) ： 20 mg/kg(ウサギ)
LC_{50}(吸 入) ： 確立していない
刺　激　性 ： Draize テストで確立していない

亜 急 性 データ ：

5206 mg/kg/39D-C,ラット(経口) ： 栄養学的、成長代謝的に体重の減少または体重の増加量の減少が見られた。
81250 ug/kg/13W-I,ラット(経口) ： 肝臓の重量変化、死亡。
240 mg/kg/14D-I,ラット(経口) ： 心臓の重量の変化、肝臓の重量の変化、死亡

12. 生態影響に関する事項(環境影響情報)

本混合物は全体では試験されていないが、個々の化学成分で生態への影響に関する情報が報告されている。欧州の規則により危険物に分類されている物質のみの情報である。

アジ化ナトリウムは環境下では減成する。太陽光の放射により、光分解を起こす。
アジ化ナトリウムは水中での光分解により金属と窒素ガスから窒化金属が生じる可能性がある。
活性の増加や、温度上昇により土壌中で減衰し、有機酸のアジ化物を生じる。
アジ化ナトリウムは、淡水性の魚に毒性を有する。

13. 廃棄上の注意

各地域の規則に従って廃棄すること。

廃棄に関しての追加情報 ： アジ化ナトリウムは銅と反応し、配管内で衝撃爆発性のアジ化金属を生じる場合がある。

2項及び10項を参照すること。米国環境保護局(EPA)規則(40CFR261)では有害性廃棄物には分類されていない。製品には重金属、揮発性あるいは準揮発性有機化合物、フェノール、殺虫剤又は PCB は含まれていない。(EPA 毒性汚染物質リスト(40CFR401.15)の化学物質ではない。しかしながら、適切な廃棄方法を決定するために、関連する地域、州及び連邦規則を調査すること)

14. 輸送上の注意

DOT 及び IATA では、本製品は以下のとおり分類されている:
危険性なし

15. 適用法令

毒物劇物取締法の毒物に該当する。

労働安全衛生法〔名称等表示〕	名称等を通知すべき有害物
毒物及び劇物取締法	毒物
消防法〔危険物〕	危険物第 5 類

米国 TSCAの状況 ： 本製品は医療用具で、TSCAで規定する「化学物質」ではない。
加 州 提 案 ６５ ： 加州安全飲料水及び毒性施行法 1986 に従い、以下の声明がなされている。
本製品は加州提案65でリストされているがん原性あるいは生殖毒性物質を含んでいない。
欧 州 ：
製 剤 分 類 ： 危険性あり
危険性分類(ES) ： Xn(有害性あり)
製剤の危険性に関する記述: コード 28-32「飲んだ場合は、非常に毒性が高い。酸と接触すると非常に毒性の高いガスが発生する。」
製剤の安全性に関する記述: ｺｰﾄﾞ28-45「皮膚に接触した後は直ちに洗剤と水で十分に洗浄すること。」
「事故が発生した場合あるいは体の具合が悪い場合は、直ちに医師の診療を受けること(可能であればラベルを示す)」
以下の分類に指定されるもととなった製剤中の成分
危険性物質 ： アジ化ナトリウム

16. その他の情報

MSDS 番 号: 105441
作 成 日: 平成 12 年 12 月 1 日
最 終 改 訂 日: 平成 20 年 10 月 1 日
注 ： (1) 本化学物質安全性データシートは改訂日時点で得られるデータに基づいている。
(2) 確立していない(NE)とは情報がないかあるいは情報が十分でないことを意味する。

本化学物質安全性データシートの記述は、改定日時点で Siemens Healthcare Diagnostics の専門家の見解であり、各種文献等から得られた情報に基づいて作成しています。しかしながら必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、本製品の取扱いには充分注意してください。また、ここに含まれる情報は、いかなる保証をなすものではありません。本製品を使用される際には、各施設毎にその用途・用法に適した安全対策を実施してください。